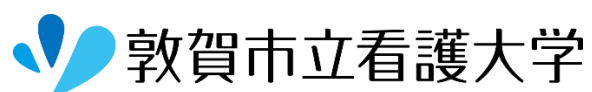


敦賀市立看護大学

地域・在宅ケア研究センター活動報告

令和4年度

地域・在宅ケア研究センター



はじめに

地域・在宅ケア研究センターは、地域の人々の健康を守り、安心して暮らせることを目指した教育・研究活動を通して地域貢献に努めています。今年度で9年目を迎えた地域・在宅ケア研究センターの活動は、住民の方々の健康づくりを支援する「出張講演」や「健康講座」、看護職の方々の研究活動を支援する「看護研究方法論講座」、研究成果や地域での実践活動の報告を通して交流を図る「研究報告会」など多岐に渡ります。

その中で今年度は現状にとどまらず、「暮らしと健康づくり」をテーマに、センター事業に主体的に参画する「学生サポーター」を育み、一緒に地域に出向いて「健康講座」を開催することにチャレンジしました。地域の多くの方々のご協力いただいたおかげもあり、今まで以上に多数ご参加いただくことができました。参加者の方々から寄せられた「これからの健康づくりを考える機会になった」、「地域の人や学生と交流できてありがたかった」、「地域にある大学だからこそ大切にしたい」など多くの言葉に力をもらい、地域に育てていただいていると痛感しています。今後も地域に根差して共に健康づくりをめざし、支えあえる地域づくりに貢献できればと考えます。

地域・在宅ケア研究センターは、これからも地域の健康課題について教育・研究・地域貢献を有機的につなぎながら活動していきたいと思えます。そのために本学教職員の専門性を最大限に発揮できるように、学生が地域の人々に関心を寄せて主体的に健康課題の解決に取り組む機会を提供できるように努めたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、延期した事業もありましたが、対策を講じながら活動した1年間をふりかえり報告書にまとめました。その内容について、皆さまからご意見やご助言をいただき、今後活かしていきたいと思えます。

令和5年3月

地域・在宅ケア研究センター長

家根 明子

目 次

はじめに

I. 地域・在宅ケア研究センターの概要	1
1. 研究センター設置の目的	
2. 研究センターの事業	
3. 組織構成	
II. 教育	2
1. 看護研究方法論講座	
1) 看護研究方法論講座《入門講座》	
2) 看護研究方法論講座《研究サポート事業》	
3) 看護研究方法論まとめ	
2. 看護大学健康講座	
1) 看護大学健康講座の開催計画と実施	
2) 看護大学健康講座まとめ	
3. 学生サポーター養成講座	
4. 出張講演	
III. 研究	11
1. 研究報告会	
2. 敦賀市民の健康に関する情報収集	
IV. 地域活動	12
1. 敦賀市への事業協力	
2. ボランティア等への参加	
3. 敦賀市各種委員会等への参加	
4. 地域行事等への参加状況	
V. その他	15
1. オープンキャンパス	
添付資料	
資料 1 看護方法研究論講座 実施要領	16
資料 2 敦賀市立看護大学研究報告会 実施要項	17

I. 地域・在宅ケア研究センターの概要

1. 研究センター設置の目的

地域・在宅ケア研究センター（以下「研究センター」という。）は、公立大学法人敦賀市立看護大学の使命の一つとして、地域の人々の健康を守り安心して暮らせることを目指した活動の拠点として設立されました。

地域に根差し、現場に学び、地域に開かれた教育研究をすすめるという看護学の特色の具体化に向けて、地域における看護職や医療保健福祉機関等との交流・連携を深めます。

また、地域における看護課題とその解決方法を探求し、大学における学術研究を一層充実させると共に、看護職の資質の向上に寄与します。

2. 研究センターの事業

研究センターの事業は地域住民の健康づくり、在宅支援などによる地域貢献、学生の学習活動と地域との連携や看護職の看護実践能力・研究能力支援のための教育、地域の健康評価における健康ニーズ調査などの研究を行います。教育、研究、地域貢献の事業内容は図1に示しました。

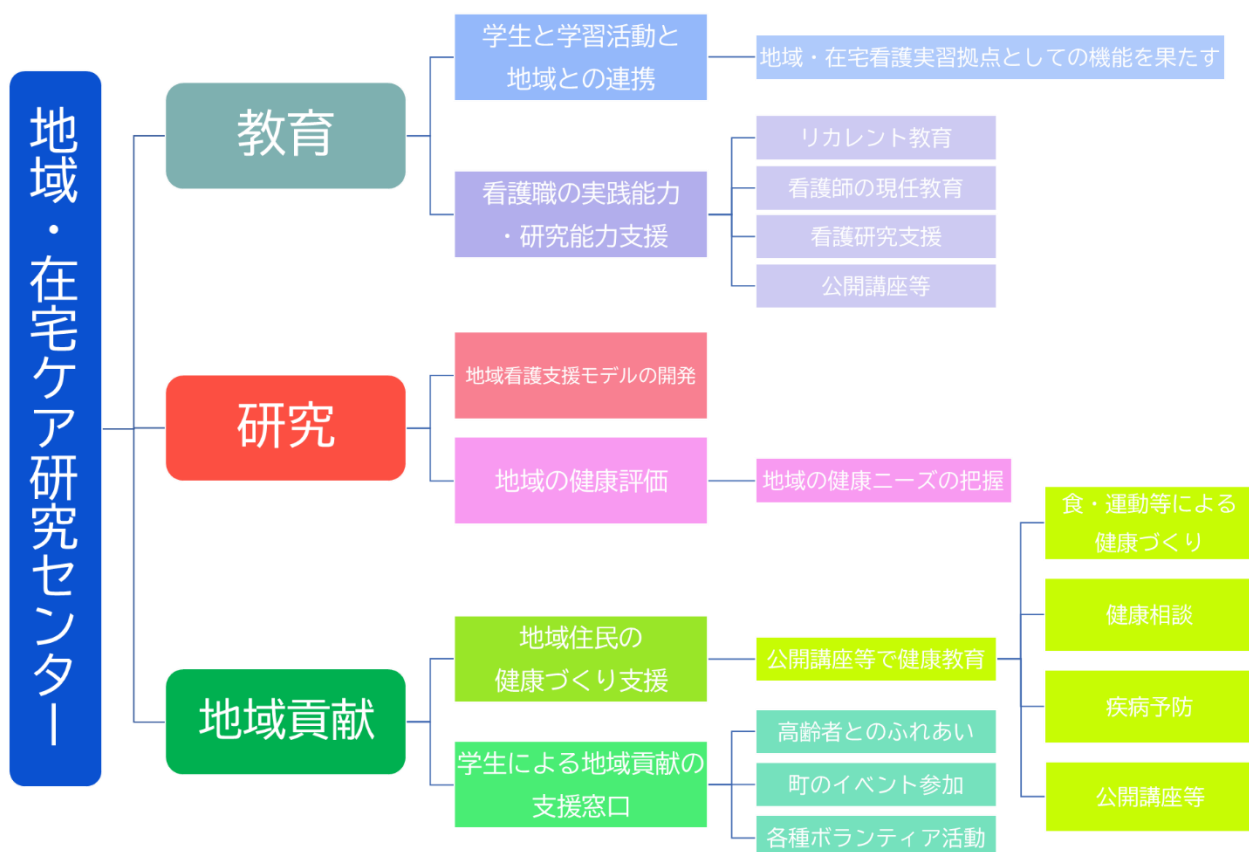


図1 地域・在宅ケア研究センターの事業内容

3. 組織構成

地域・在宅ケア研究センターの位置付けを図2に示しました。大学に直接附属する機関であり、メンバーは教職員全員です。

公立大学法人敦賀市立看護大学組織図(2023.4.1)

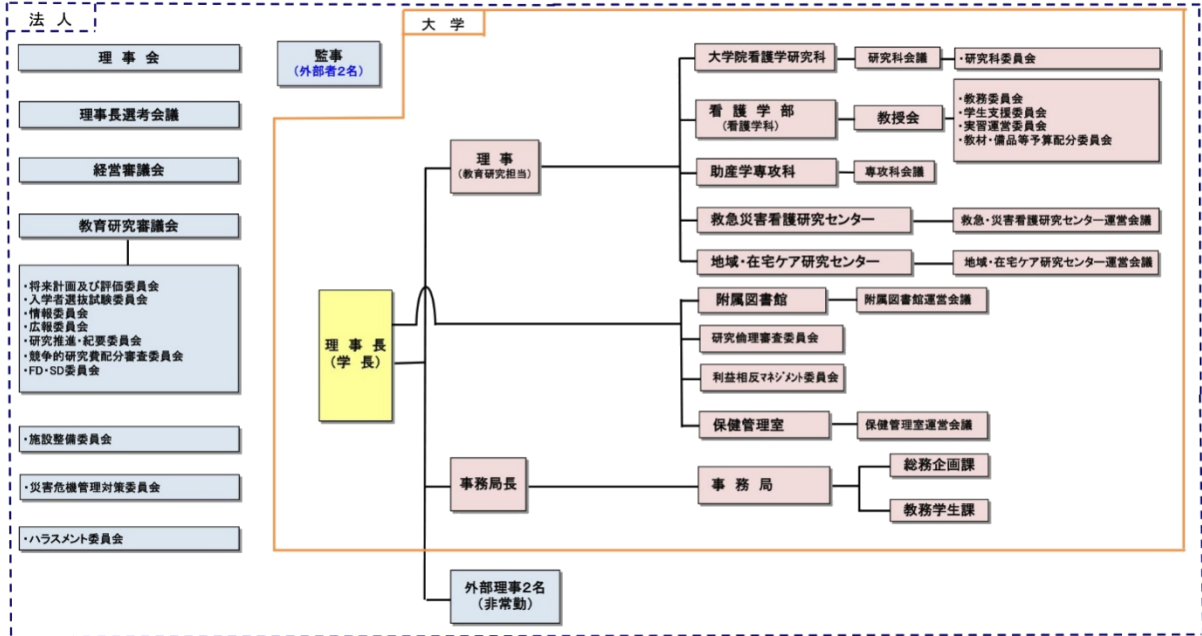


図2 地域・在宅ケア研究センターの組織構成

II. 教育

1. 看護研究方法論講座

看護研究方法論講座は、資料1の要領に基づいて入門講座と研究サポートを行っています。

研究を行い看護ケアを開発してみませんか！

敦賀市立看護大学 看護研究方法論講座 全体概要

※受講対象者：敦賀市、美浜町及び嶺南地域の医療・看護・保健・介護関係施設に勤務する看護職者の方です
(これ以外の方はお問い合わせください。)

本学では、看護の充実と発展に寄与するため、嶺南地域の看護職者の方の研究を推進・支援することを目的に「看護研究方法論講座」を開催しています。
ご希望により研究指導(STEP2以降)も行っています。

↑

ステップ2以降は、希望者のみ対象

↑

研究の流れ

STEP6	発表論文作成・発表	➡ 研究発表会や学会、論文等での発表を目指します。本学においても、毎年「研究報告会」を開催しており、発表の場を設けています。
STEP5	調査データの収集分析	
STEP4	倫理審査	➡ 研究テーマに合わせて担当教員を決定します。決定後、担当教員は原則として共同研究者として研究を進めていきます。 * 本学の倫理審査を受けることを保証するため
STEP3	研究計画書の作成	
STEP2	研究テーマの決定	➡ 本学教員による研究の指導を希望される方は、研究テーマを決定し、4月末日頃を目途に「研究指導申込書」を本学に提出していただきます。* 先着20件程度

STEP1 入門講座
(詳細裏面)

➡ 大学において看護研究方法の講義・演習を行います。令和4年度の内容・申込方法は裏面をご参照ください。

受講料・指導料：無料 会場：講座・研究指導共に敦賀市立看護大学 問い合わせ先：敦賀市立看護大学 地域・在宅ケア研究センター事務局 電話0770-20-5540

1) 看護研究方法論講座《入門講座》

令和4年度は、令和3年度延期分（表II-1）および令和4年度分（表II-2）を実施しました。

表II-1 令和3年度延期分看護研究方法論講座《入門講座》概要

日時		内容	担当
第1日目 (5月14日)	13:00～13:10(10分)	1. オリエンテーション① 本講座のねらい、目標について	家根 明子
	13:10～14:00(50分)	2. 看護研究の概要と研究課題について	道重 文子
	14:10～15:10(60分)	3. 文献検索の方法	池原 弘展
	15:20～16:20(60分)	4. 文献のクリティーク	池原 弘展
第2日目 (5月21日)	13:00～14:20(80分)	1. 研究の種類：量的研究	喜多 義邦
	14:30～15:50(80分)	2. 研究の種類：質的研究	前川 直美
	15:50～16:20(30分)	3. オリエンテーション② 研究計画書作成に向けて	家根 明子
第3日目 (6月4日)	13:00～14:00(60分)	1. 研究の倫理と倫理審査	林 祐一
	14:00～14:10(10分)	2. 今後の進め方について	運営委員
	14:20～(120分程度)	3. 研究計画書の作成に向けて (グループワーク・個別相談)	(家根明子、林祐一、 前川直美、鈴木隆史、 柳澤奈美、高城絵美) 他

表II-2 令和4年度看護研究方法論講座《入門講座》概要

日時		内容	担当
第1日目 (2月4日)	13:00～13:10(10分)	1. オリエンテーション① 本講座のねらい、目標について	家根 明子
	13:10～14:00(50分)	2. 看護研究の概要と研究課題について	道重 文子
	14:10～15:10(60分)	3. 文献検索の方法	池原 弘展
	15:20～16:20(60分)	4. 文献のクリティーク	池原 弘展
第2日目 (2月11日)	13:00～14:20(80分)	1. 研究の種類：量的研究	喜多 義邦
	14:30～15:50(80分)	2. 研究の種類：質的研究	石橋 佐枝子
	15:50～16:20(30分)	3. オリエンテーション② 研究計画書作成に向けて	家根 明子
第3日目 (3月4日)	13:00～14:00(60分)	1. 研究の倫理と倫理審査	林 祐一
	14:00～14:10(10分)	2. 今後の進め方について	運営委員
	14:20～(120分程度)	3. 研究計画書の作成に向けて (グループワーク・個別相談)	(家根明子、林祐一、 鈴木隆史、柳澤奈美、 高城絵美) 他

令和3年度分の講座には延べ80名、令和4年度分の講座には延べ27名が受講されました。過去5年分の受講者数の推移は、表II-3に示す通りです。

参加者へのアンケートの結果より、回答者の44.8%が経験年数10年未満でした。一方で、主任やチームのリーダー的役割を担っていると回答した人が35%、管理職と回答した人が15%を占める回もありました。回答者の65%が、これまでに看護研究に取り組んだことがあると回答したのに対し、43%の方がこれまで看護研究に関する講座や研修を受けたことがないと回答しました。これらの結果から、本講座が、嶺南地域の看護職者の研究に関する入門の研修として、様々な層から認識・活用されていることが伺えました。

講義については、60～90%の回答者が難しいと思うかという問いに、「思う」「やや思う」と回答しました。また、参考になるかという問いには、90%以上の回答者が、「思う」「やや思う」と回答しました。以下に寄せられたコメントを示します。

- ・看護研究は負担に感じていたが、講義を受けて気持ちが少し前向きになった。
- ・少しでも興味のあることは文献を読まなければいけないと分かり、よい気づきになった。
- ・研究の倫理について詳しく学ぶことができ、倫理審査はこわいものではないとわかった。

表II-3 看護研究方法論講座《入門講座》受講者数の推移

開催年度	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	備考
講座開催 日数	3日	2日	3日	3日 ※R4.5,6月	3日	新型コロナウイルス感染症等にて R1年度は1日中止、R2年度は全て中止、R3年度は 次年度に延期した。
延べ 受講者数	79	28	5 ※申込者数	80	27	



2) 看護研究方法論講座《研究サポート事業》

これまでの看護研究方法論講座《入門講座》受講者から表II-4 の通り研究指導の申込があり研究サポートを行いました。過去5年の研究サポート実績は表II-5 に示す通りです。

表II-4 令和4年度看護研究方法論講座《研究サポート》の実績

No.	テーマ※	施設名	担当教員
1	早期リハビリテーションへの働きかけ	公立小浜病院	池原 弘展
2	緩和ケアに関する研究	敦賀医療センター 【2階病棟】	道重 文子
3	血液疾患の化学療法を受ける患者へケアを実践する看護師の困難感の軽減について	敦賀医療センター 【3階病棟】	横山 浩誉
4	術中訪問時の待機家族への関わり	敦賀医療センター 【手術室】	山崎 加代子
5	筋緊張の強い患者に対し緩和が図られる関わりの検討	敦賀医療センター【ひまわり病棟1】	伊部 亜希
6	重症心身障害児への呼吸ケアについての検証	敦賀医療センター 【ひまわり病棟2】	河合 正成
7	経験の浅い看護師の重症心身障害児看護に対する思い	敦賀医療センター 【ひまわり病棟3】	家根 明子
8	高齢者の日々のスキンケア～保湿剤を使用して得られる効果の持続期間の検証～	レイクヒルズ美方病院	前川 直美 林 祐一
9	COVID-19 患者の看護を実践した病棟看護師の心理状況	市立敦賀病院	石橋 佐枝子
10	病棟看護師の入院時サマリーについての意識調査	訪問看護ステーションめいほう	鈴木 隆史
11	独居認知症者の在宅生活の継続について	訪問看護ステーションめいほう	家根 明子

※申込時テーマ

表II-5 看護研究方法論講座《研究サポート》実績の推移

開催年度	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4
件数	8件	6件	1件	7件	11件

3) 看護研究方法論まとめ

看護研究入門講座は、R3年度延期分とR4年度の2回開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響下にも関わらず、入門講座および研究サポート申込者数は、昨年より増加する結果となりました。センターのこれまでの教育活動や研究サポート支援などの取り組みも背景にあると考えられます。今後は、広報や受講方法の工夫などにより看護研究の一層の推進を図ります。



令和4年度 研究を行い看護ケアを開発してみませんか！

看護研究方法論講座 入門講座

国民のニーズの多様化や医療等を取り巻く環境の変化、地域包括ケアシステム推進の観点から看護職者の役割は増大しています。

このため、看護の充実と発展のために看護ケアの開発や効果の検証、看護業務の改善につながる研究が必要です。

看護研究方法論講座は、敦賀市立看護大学が嶺南地域の看護職者の方の研究を推進・支援することを目的に開催しています。この講座は「入門講座」と「研究指導」の二本立てになっており、下記の入門講座を受講された方が研究を実施される場合は、ご希望により研究指導を行っております。

入門講座終了後の流れは、裏面をご確認ください。

※受講対象者は、嶺南地域の医療・看護・保健・介護関係施設に勤務する看護職者の方です（これ以外の方はお問い合わせください）

◆看護研究入門講座の目的

1. 科学的思考を基に、臨床現場で看護研究ができる基礎的知識を身に付けることができる。
2. 研究計画書を作成することができる。

◆入門講座申込方法

ご所属の施設を通してお申し込みください。※1日単位の受講も可

問い合わせ先
敦賀市立看護大学
地域・在宅ケア研究センター
事務局
電話 0770-20-5540
FAX 0770-20-5548

◆入門講座スケジュール ※受講料・指導料は無料 会場は、敦賀市立看護大学(敦賀市木崎78-2-1)

		内容
第1日目 令和5年 2月4日(土)	13:00-13:10(10分)	1.オリエンテーション① 本講座のねらい、目標
	13:10-14:00(50分)	2.看護研究の概要と研究課題について
	14:10-15:10(60分)	3.文献検索の方法
	15:20-16:20 (60分)	4.文献のクリティーク
第2日目 令和5年 2月11日(土)	13:00-14:20(80分)	1.研究の種類:量的研究
	14:30-15:50(80分)	2.研究の種類:質的研究
	15:50-16:20(30分)	3.オリエンテーション② 研究計画書の作成に向けて
第3日目 令和5年 3月4日(土)	13:00-14:00(60分)	1.研究の倫理と倫理審査
	14:00-14:10 (10分)	2.今後の進め方について
	14:20-(120分程度)	3.研究計画書の作成に向けて (グループワーク・個別相談)

2. 看護大学健康講座

看護大学健康講座事業の概要

地域住民の健康づくりを支援するとともに、地域に開かれた大学として住民が気軽に集い、交流する場を提供することを目的に、平成27年度3月から「看護大学喫茶」を開始してきました。平成30年度からは、講演をメインにした内容として、名称を「看護大学健康講座」として実施しています。内容は、教員の専門性を活かした講演、住民が自身の健康状態を知り、継続的に健康づくりに取り組める契機となるような健康チェック(体力測定)・健康相談です。

令和4年度は、「暮らしと健康づくり」をテーマに、学内で2回、栗野地区での出張開催を2回実施しました。

1) 看護大学健康講座の開催計画と実施

令和4年度は、4回の講座を実施しました。概要は表II-6に示しました。

表II-6 令和4年度看護大学健康講座の概要

日時	場所	内容	従事者	参加者
第1回 7/9 (土) 10:00-12:00	本学	①講演 「忍び寄る熱中症の予防」 山崎 加代子 教授 ②健康チェック ③健康相談	教職員 8名 学生 2名	11名
第2回 9/22 (木) 9:30-12:00	栗野 公民館	①講演 「認知機能とフレイル」 林 祐一 教授 ②オレンジノートをつくってみよう ③健康相談	教職員 7名 学外 3名 学生 5名	60名
第3回 11/26 (土) 9:30-11:45	栗野 公民館	①学生サポーター企画 「認知症予防と健康づくり」 ②講演 「フレイルと防災」 林 祐一 教授 ③健康相談	教職員 7名 学外 2名 学生 7名	30名
第4回 3/2 (木) 10:00-12:00	本学	①講演 「生活習慣病と認知症の予防」 林 祐一 教授 ②健康チェック ③健康相談	教職員 5名 学生 4名	23名

2) 看護大学健康講座まとめ

令和4年度は、学内で2回、学外で2回、計4回実施することができました。第3回では学生サポーター養成講座を受講した学生による企画発表を実施しました。学生企画は好評で、学生と住民と一緒に学ぶ機会を得ました。表II-7は、これまでの看護大学健康講座の参加者数の推移です。今年度は、地域住民に近い場所で開催したことで、看護大学健康講座への参加者数は、新型コロナウイルス感染症の流行下でも、100名程度の参加者数となりました。今後も地域での健康講座を継続していく予定です。この講座は「未来協働プラットフォームふくい推進事業（大学等魅力アップ支援分）*」の助成を受けて実施しました。

表II-7 看護大学健康講座 参加者数の推移

開催年度	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4
開催回数	3	3	0	1	4
延べ 参加者数	76	168	0	14	124



*未来協働プラットフォームふくいは、県内大学等と産業界・医療界・金融界・自治体からなる新たな協議体として、令和3年11月29日に県主導で構築した連携組織です。これは「知と人材の集積拠点」である県内全ての高等教育機関の力を福井県の地方創生に活かすことを目的とした事業です。

3. 学生サポーター養成講座

看護大学健康講座学生サポーター養成講座の開催計画と実施

令和4年度は、学生が地域を理解し、住民と一緒に学べる場を作るため、看護大学健康講座学生サポーター養成講座を開催しました。今後も、学生サポーター養成講座を継続してゆく予定です。概要は表Ⅱ-8に示しました。

表Ⅱ-8 令和4年度看護大学健康講座学生サポーター養成講座の概要

日時	場所	内容	参加者
第1回 7/13 (水) 10:00-12:00	本学	「認知症者への理解その① -認知症の理解-」 林 祐一 教授	9名
第2回 8/23 (火) 10:0-12:00	本学	「認知症者への理解その② -オレンジノートの活用とその理解-」 富山県立大学看護学部 木谷 尚美 准教授	12名
第3回 9/9 (金) 9:30-12:40	粟野地区	「地域の理解（地区踏査）」 鈴木 隆史 講師	3名



この事業は未来協働プラットフォームふくい推進事業（大学等魅力アップ支援分）*の助成を受けて実施しました。

4. 出張講演

出張講演として、住民の皆さまや専門職の方を対象とした教養講座と健康講座を開設しています。教員のそれぞれの知識と知恵を活かした講演テーマのパンフレットを作成し、その中から聞いてみたいと思う内容があれば、クラブ、サークル、会社等のグループ単位で申し込んでいただき、日時、場所等を調整したうえで実施しています。令和4年度出張講演実施状況を表II-9に、出張講演参加状況の推移を表II-10に示しました。

表II-9 令和4年度出張講演実施状況

No	実施日	対象団体	講演テーマ	講師	実施場所	受講人数
1	6月14日	(株)原子力安全システム 研究所	メンタルヘルス研修	石橋佐枝子 講師	(株)原子力安全 システム研究所	48名
2	6月16日	美浜町 老人クラブ連合会	認知症の理解	林 祐一 教授	美浜町生涯学習 センターなびあす	18名
3	8月22日	敦賀市 老人クラブ連合会	生活習慣病の予防（糖尿 病・脳卒中・心筋梗塞）	林 祐一 教授	敦賀市福祉総合 センター	100名
4	9月15日	敦賀市 老人家庭相談員	高齢者の暮らしを支えあ う中で大切なこと	北村隆子 教授	敦賀市福祉総合 センター	100名
5	10月6日	二州青松の郷	地域で共に暮らし共に働 く社会を目指す	石橋佐枝子 講師	二州青松の郷	36名

表II-10 出張講演実施状況の推移

回数・参加者数	年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
開催回数		8	8	8	3	5
参加者数		291	293	191	102	302

『認知症の理解』



『高齢者の暮らしを支えあう中で大切なこと』



III. 研究

1. 研究報告会

看護や地域医療保健福祉の質の向上を目指して、平成 29 年度より研究報告会を開催し、大学教員の研究成果や地域の専門職者の実践活動について報告しています。

今年度は、令和 3 年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

これまでの研究報告会の参加状況は表Ⅲ-1 に示す通りです。研究報告会は、令和 3 年度より学部学生の参加を積極的に勧奨したことで、参加者の増加につながりました。参加を通じて学生が研究への関心を高める教育的な機会ともなっています。また、市内の専門職者にとっては、発表した看護実践に対して意見交換をするなど、学外者と大学だけではなく、学外者相互の交流にもつながるなど研究報告会の開催の意義があると言えます。

今後は、会場集合型にこだわらない形式の検討など、開催方法の改善に努めていきます。

また、看護や保健医療福祉からの多様な研究・実践報告を募り、報告者、参加者双方の理解と交流が深まり、地域での研究活動等がより推進されることを目指していきます。

表Ⅲ-1 敦賀市立看護大学研究報告会 演題数・参加者数の推移

年度	2018*	2019*	2020	2021*	2022
演題数・参加者数	H30	R1	R2	R3	R4
演題数	9	16	中止	8	中止
参加者数	47	56		115	

*参加者数に報告者以外の教職員は含まれず

2. 敦賀市民の健康に関する情報収集

敦賀市の健康課題を把握することを目的に、敦賀市民を対象に実施した令和元年度の調査結果を基に、今年度はさらに情報収集を行う予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で事業の一部が中止がとなりました。開催できた事業でのアンケート調査では、参加者が現在抱えている健康上の課題を収集することに努めました。

令和元年度の敦賀市との意見交換では、敦賀市が抱えている課題として以下の 3 点が挙げられました。

- ① 健康に関する知識の普及、啓発（例：イキイキ健活プラス 1）に取り組んでいるが、継続的な住民の主体的な実践に繋がりにくい。
- ② 健康無関心層に関心を持ってもらうための工夫が必要
- ③ 健康づくりを地域で担うリーダーの養成が必要

今後も継続して情報を集積し、分析を深めることで、敦賀市の健康課題を明らかにしていきたいと考えています。また、敦賀市と協働し、学生の柔軟な発想も取り入れながら地域に合った健康づくりについて、センターの事業に反映していきたいと考えています。

IV. 地域活動

1. 敦賀市への事業協力

敦賀市では、平成28年度から介護予防事業として「男のための元気づくり道場」（全5回）、
「女性のための元気づくりスクール」（全5回）が実施されています。

令和4年度は、それぞれ各1回の講義依頼に協力しました。内容は以下の通りです。

1) 「男のための元気づくり道場」

- (1)実施日 令和4年10月31日（月）
- (2)テーマ 「生活習慣病を予防しよう。介護予防って何？」
- (3)講師 北村 隆子 教授
- (4)参加者 15名
- (5)参加者の感想
 - ・ 男性の介護が必要となる要因について理解できた。
 - ・ 体力を維持するための運動方法について理解できた。

2) 「女性のための元気づくりスクール」

- (1)実施日 令和5年1月20日（金）
- (2)テーマ 「介護予防の知識とロコモティブシンドローム・フレイル予防」について
- (3)講師 鈴木 隆史 講師
- (4)参加者 34名
- (5)参加者の感想
 - ・ 健診を受ける必要性がわかった
 - ・ 寒い時期でも身体をうごかすことが大切だとわかった。
 - ・ 口や歯の健康にも気を付けなければならないことがわかった。



（写真は敦賀市長寿健康課よりご提供いただきました）

2. ボランティア等への参加

ボランティア等への参加実績及び年次推移は表IV-1、表IV-2に示す通りです。

表IV-1 令和4年度ボランティア等参加実績

No	実施日	イベント名	依頼者	場所	内容	参加人数
1	6月5日	クリーンアップふくい大作戦	敦賀市	気比の松原	海岸清掃	学生7名
2	7月24日	福井ユナイテッドFC公式戦試合運営	福井ユナイテッド株式会社	敦賀市総合運動公園	来場者対応(検温、物品配布)	学生2名
3	7月30日 8月6日 9月24日 10月8日 11月19日 1月28日	寺子屋遊びと学び塾	寺子屋遊びと学び塾	栗野公民館他	学習ボランティア	学生10名
4	11月17日-18日	第4回地域共生社会推進全国サミットINつるが	敦賀市	プラザ萬象 きらめきみなと館 あいあいプラザ	来場者誘導 会場受付	学生3名
5	12月29日	令和4年8月豪雨災害南越前町支援企画	NPO法人災害看護研究所	大桐ふれあいセンター	第2回大桐地区地域ふれあいの集い	学生3名

表IV-2 ボランティア等への参加実績の年次推移

	2018(H30)		2019(R1)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)	
	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数
学 生	8	163	7	66	2	5	4	14	5	25
教職員	1	6	1	0	0	0	0	0	0	0

3. 敦賀市各種委員会等への参加

敦賀市の各種委員会への参加実績及び年次推移は表IV-3、表IV-4に示す通りです。

表IV-3 敦賀市の各種委員会等への参加実績

No	実施日	委員会等名	依頼者	場所	内容	参加人数
1	8月2日	第41回敦賀マラソン大会参加記念品選定会	敦賀市教育委員会	敦賀市総合運動公園	敦賀マラソン大会参加記念品選定	学生2名
2	5月～10月	敦賀市消費生活センター	敦賀市生活安全課	敦賀市役所	消費被害防止ドラマDVD制作	学生3名

(第3種郵便物認可) 永富 子キ 飛戸

消費被害防止 ドラマで啓発

今春の成人年齢引き下げを受け、若者の消費者トラブルを未然に防ごうと、敦賀市消費生活センターはこのほど、同市立看護大生と協力して啓発DVDを制作した。キャラクターはこのほど、同市立看護大生と協力して啓発DVDを制作した。キャラクターはこのほど、同市立看護大生と協力して啓発DVDを制作した。

敦賀生活センター 看護大生とDVD制作

契約前によくかんガエル



若者に多い消費者トラブルについて分かりやすく伝える啓発DVDの一場面。右3人が敦賀市立看護大生

3事例 若者に分かりやすく

DVD制作に参加してもらった消費者トラブルを自分事として考えてもらおうと、同センターが大学に協力を呼び掛け、ドラマでトラブルに巻き込まれる若者役として1年生の女子3人が出演した。

「買った物やキャッシュレス決済については、店で買ったが一度も使わずにいらなくなった返品を返品できるか考えている場面が描かれ、契約がいったん成立すると、原則として一方的にやめることはできない」と紹介。キャッシュレス決済は支払い能力以上の金額を使ってしまふ傾向があるため、「上限金額を設定するなどして使用しなす」と伝えている。

インターネット通販の事例では定期購入トラブルが近年増えているとし、注目の最終確認画面で契約内容や解約方法を確認することが重要と解説。交流サイト(SNS)関連のトラブルとしてはマルチ商法が取り上げられ、「簡単にものかかると話はない。おかしいと思ったら疑うことが大切」と啓発している。

同センターの担当者は「悪質商法などに巻き込まれないよう、契約に関する正しい知識を身に付けてほしい。困り事があったらセンターに相談してください」と話していた。

DVDは中学校での出前授業で使用するほか、貸し出しも行っている。市公式YouTubeでも視聴できるようには予定。問い合わせは市生活安全課内の同センター＝0770(2)8115

令和4年10月12日
福井新聞 掲載

表IV-4 敦賀市の各種委員会等への参加実績の年次推移

	2018(H30)		2019(R1)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)	
	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数
学 生	0	0	0	0	2	5	3	8	2	5

4. 地域行事等への参加実績

令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの地域行事が中止・縮小となったため、学生・教職員の参加はありませんでした。

なお、年次推移については表IV-5に示す通りです。

表IV-5 地域行事等への参加実績の年次推移

	2018(H30)		2019(R1)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)	
	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数
学 生	4	21	4	21	0	0	1	11	0	0
教職員	2	3	2	3	0	0	1	1	0	0

V. その他

1. オープンキャンパス

本学では、開学以来オープンキャンパスを毎年複数回開催しています。令和3年度から地域・在宅ケア研究センターの活動PRと、本学学生が行う地域・在宅ケア研究センター事業への興味関心を高めるために、センターでの活動紹介の展示を行っています。

令和3,4年度開催のオープンキャンパスでは、福井県内の高校生限定という条件ではありましたが、表Vのとおり参加者も一定程度ありました。

次年度の構想として、学生サポーターの在学生による活動の紹介を通して、高校生が本学入学後に実践できる地域活動への関心を高める機会の提供や在学生への教育の場としての活用も考慮した内容にしていきたいと考えます。

表V 看護大学オープンキャンパス参加者数

回数・参加者数	2021 (R3)		2022 (R4)	
	夏	秋	夏	秋
開催回				
参加者数	55	30	34	28



資料 1

看護研究方法論講座 実施要領

敦賀市立看護大学 地域・在宅ケア研究センター

1. 目的

- 1) 臨床現場における看護研究の推進をはかり、科学的思考の基で看護ケアが創造できる能力を身に付けることを目指します。
- 2) 看護研究の成果を当該施設内外で発表することにより、看護を探究する姿勢を高めることを目指します。
- 3) 研究発表を通して、それぞれの施設の研究課題や看護活動を相互に理解することを目指します。
- 4) 大学と当該施設の良い関係を構築し、当該施設における医療・看護が円滑に行えることを目指します。

2. 対象者

対象者は、敦賀市、美浜町及び嶺南地域の医療・看護・保健・介護関係施設に勤務する看護職者として。

受け入れ可能な研究指導件数は、個人・グループ等で 20 件程度とします。

3. 研究の進め方

- 1) 大学において看護研究方法の講義・演習を行います。
日時・内容の詳細は別途定めます。
- 2) 本学教員による研究の個人又はグループで指導を希望する方は、研究テーマを決定し、4 月末日までに研究指導申込書を用いて本学に提出して下さい。なお、研究テーマ決定にあたっては相談にも応じます。
- 3) 研究テーマに合わせて担当教員を決定します。
- 4) 担当教員決定後は、原則として共同研究者（本学の倫理審査を受ける権利の保証）として研究をすすめていただきます。
- 5) 研究発表会や学会、論文等で発表していただけることを期待しています。

平成 30 年 12 月改定

資料2

敦賀市立看護大学研究報告会 実施要項

1. 目的

研究成果や実践活動を通して、看護や地域医療保健福祉の質の向上に資することを目的とする。

2. 対象者

- 1) 敦賀市及び美浜町の医療・看護・保健・福祉施設等に勤務する者
- 2) 一般市民など

3. 実施方法

- 1) 演題は医療・看護・保健・福祉等に携わる者から公募する。
- 2) 本学の教員は、原則として過去1年間に発表した研究成果を報告する。
- 3) 研究成果や実践内容を口頭発表する。
- 4) 開催は年1回とし、開催時期は秋季とする。
- 5) 報告会の世話人は大学教員が担当する。

令和4年度地域・在宅ケア研究センター運営会議 構成員

(○センター長、五十音順)

鈴木隆史、高城絵美、林祐一、前川直美、柳澤奈美、○家根明子、(事務局) 金森大輔、八木祥絵

令和4年度 地域・在宅ケア研究センター活動報告書

令和5年3月31日発行

編集発行 敦賀市立看護大学

〒914-0814 福井県敦賀市木崎 78-2-1 TEL:0770-20-5500
